

学校現場におけるICT活用に向けた取組（イメージ）

- 令和2年度以降順次実施される「新学習指導要領」においては、
 - ・ **情報活用能力**を、言語能力と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け、**育成を図る**とともに、
 - ・ **学校のICT環境整備**と**ICTを活用した学習活動の充実**を明記。

学校現場における活用のプロセス（例）

【すぐに実践できるICT活用】

- 新学習指導要領の教科書に沿った活用
 - ・ 教科書QRコード・準拠デジタル教材の活用 等
- 授業において日常のツールとして使用
 - ・ 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用
 - ・ 様々な調べもの学習での利用
 - ・ 英語動画やNHK for Schoolの視聴 等々
- 教師の日常の校務での使用

【優良事例共有によるICT活用推進】

- ・ プログラミング教育
- ・ ICTを活用したアクティブラーニングの実践 等

【ICTの特性を生かした新たな学び】

- ・ 個別最適化された学び
- ・ STEAM教育
- ・ 様々な先端技術の活用 等

文部科学省による活用に向けた取組

➤ 環境さえ整えばすぐにでも行えるもの

整備事業者はじめ民間の支援も
得ながら現場へ徹底

- 官民協働の「未来の学びコンソーシアム」による取組推進
- 「教育情報化に関する手引」の公表
- 教職員支援機構による研修や動画提供 等

- 先行する民間企業の事例との連携
- 経済産業省「未来の教室」との連携
- 「先端技術利活用ガイドライン」の策定
- 教育データの標準化 等

自治体による活用計画やフォローアップなど、学校ICT活用に関する全国的なPDCAサイクルの構築

(参考) 教員のICT活用指導力 (平成31年3月)

「わりができる」もしくは「ややできる」と回答(自己評価)した教員の割合

A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	86.2%
B 授業にICTを活用して指導する能力	69.7%
C 児童生徒のICT活用を指導する能力	70.2%
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	80.5%